

凍結抑制舗装の効果検証について

様式2



山口土木事務所業務課
技師 佐藤 佑哉

道路橋りょう維持(維補)工事(舗装工) 外

施工場所:南会津町東字戸板山地内 外

1. はじめに

- ・凍結抑制舗装とは
 - 寒冷地域における道路交通の安全確保を目的として凍結抑制機能を持たせた舗装
- ・ウレタン舗装について
 - 排水性舗装または多機能タイプ砕石マシック舗装の車両走行部分に弾性のあるウレタン樹脂を浸透・充填させた舗装工法で、その舗装道路上を車両が走行することによって雪氷路面の氷膜を破壊し、路面露出を促進させる凍結抑制舗装工法

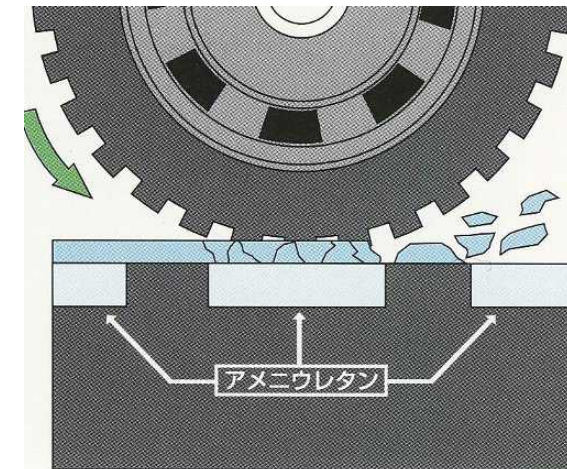


図1. 氷膜破碎の様子
日本道路(株)HPより

2. 経緯

山口土木事務所管内の凍結抑制舗装工実施状況

- ・H24年度 国道289号 南会津町東地内
- 国道289号 只見町大字長浜地内
- ・H25年度 国道352号 南会津町大桃地内
- ・H26年度 国道289号 南会津町東地内
- 国道352号 南会津町八総地内

3. 内 容

凍結抑制舗装の効果を確認するため目視による調査を実施。

→路面の露出具合を調査

大桃・八総地内については、スノーシェッド内の施工のため、入口付近とシェッド内に分けて調査・比較する。



図2. 凍結抑制舗装の様子
国道289号東地内(H26年度施工)

4. 進捗状況

現在、データを集計中。雪量観測システムを用いて、路面の露出状態、降雪量、気温、除雪の有無等を調べ、施工箇所の関係から凍結抑制舗装の適用性を調査する。

5. おわりに

今後も引き続きデータ収集を行う。また、降雪シーズン終了後、路面が乾燥及び濡れている状態での滑り抵抗試験を実施する。(3月実施予定)